

NY マーケットレポート (2015年9月15日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高が堅調な結果となり、2ヵ月連続で増加となった。そして、燃料やエネルギーのコスト低下で浮いた分が消費に回っていることが示されたことで、米景気に対する期待感が高まったことから、米国の利上げ期待も高まり、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、米株価が大きく上昇したことや、日銀が金融緩和の拡大を見送ったことも影響して、円が主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、米 FOMC を控えて、様子見ムードも強まり、午後からは狭いレンジ内の動きが続いた。

2015/9/15 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.61	120.66	119.56
EUR/JPY	135.24	136.41	135.08
GBP/JPY	184.67	186.11	184.25
AUD/JPY	85.12	86.32	84.95
EUR/USD	1.1308	1.1329	1.1285

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.66	119.41
EUR/JPY	135.52	135.00
GBP/JPY	184.92	184.30
AUD/JPY	85.39	85.04
EUR/USD	1.1322	1.1298

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18026.48	+60.78
ハンセン指数	21455.23	-106.67
上海総合	3005.17	-109.63
韓国総合指数	1937.56	+6.10
豪ASX200	5018.44	-78.03
インドSENSEX指数	25705.93	-150.77
シンガポールST指数	2841.94	-29.53

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6137.60	-53.01
仏CAC40	4569.37	+51.22
独DAX	10188.13	+56.39
ST欧州600	356.43	+2.80
西IBX35指数	9782.50	+86.10
伊FTSE MIB指数	21903.63	+349.83
南ア 全株指数	49491.68	+125.08

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.42	120.50	119.57
EUR/JPY	135.72	135.88	135.22
GBP/JPY	184.75	184.93	184.23
AUD/JPY	86.05	86.11	85.16
NZD/JPY	76.55	76.71	75.62
EUR/USD	1.1271	1.1329	1.1259
AUD/USD	0.7146	0.7152	0.7085

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16599.85	+228.89
S&P500	1978.09	+25.06
NASDAQ	4860.52	+54.76
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	13462.71	+109.37
🇧🇷 ボルサ指数	43269.62	+442.27
🇲🇽 ボベスパ指数	47364.07	+82.55

9/16 経済指標スケジュール	
09:30	【豪】8月ウエストバック先行指数
14:00	【日】9月日銀・金融経済月報
15:00	【日】8月工作機械受注
17:30	【英】8月失業率
17:30	【英】8月失業者数推移
17:30	【英】7月ILO失業率[四半期]
18:00	【欧】2Q労働コスト
18:00	【スイス】9月ZEW景況感調査
18:00	【欧】8月消費者物価指数
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
20:00	【南ア】7月実質小売売上高
21:30	【米】8月消費者物価指数
21:30	【カナダ】7月国際証券取扱高
21:30	【カナダ】7月製造業出荷
23:00	【米】9月NAHB住宅市場指数
05:00	【米】7月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1102.60	-5.10
NY 原油	44.59	+0.59
CME コーン	390.50	-3.00
CBOT 大豆	889.00	+4.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.80%	0.73%
3年債	1.12%	1.03%
5年債	1.61%	1.51%
7年債	1.99%	1.88%
10年債	2.28%	2.18%
30年債	3.06%	2.95%

9/16 主要会議・講演・その他予定
・欧州議会本会議
・FOMC (～17日)

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.62 ユーロ/円 135.00 ユーロ/ドル 1.1320

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6074.86	-9.73	ダウ 先物ミニ	16274	-5
仏 CAC40	4539.71	+21.56	S&P 500 ミニ	1943.75	-0.25
独 DAX	10140.44	+8.70	NASDAQ 100 ミニ	4298.25	-1.50

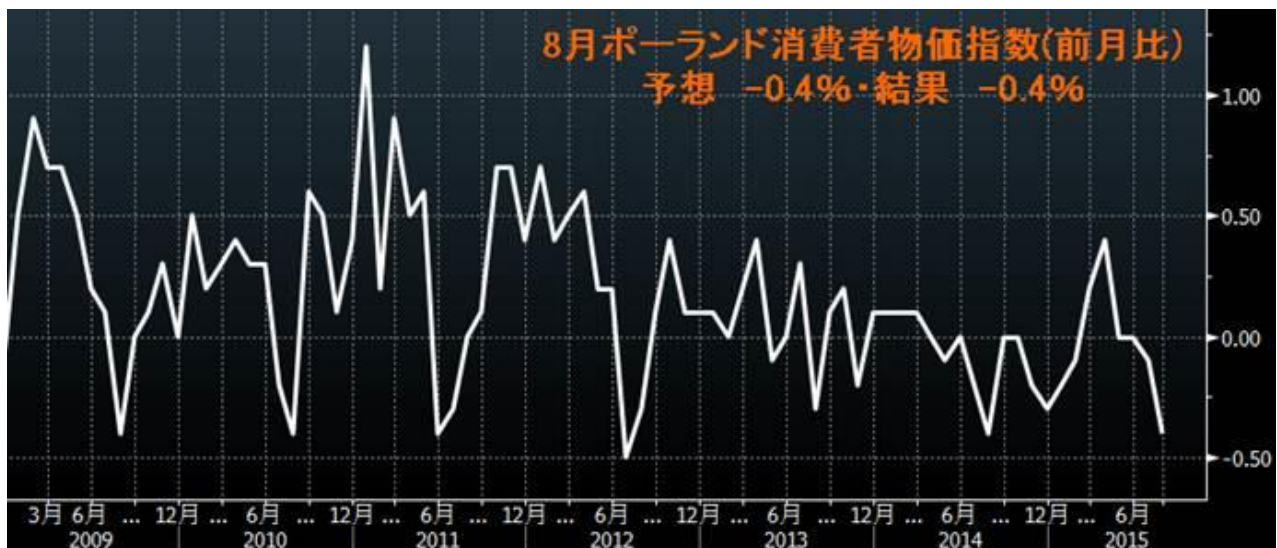
(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ポーランド消費者物価指数(前月比) -0.4% (予想 -0.4%・前回 -0.1%)

8月ポーランド消費者物価指数(前年比) -0.6% (予想 -0.7%・前回 -0.7%)



(出所: ブルームバーグ)



21 : 05

FOMC 控え世銀が報告書公表

- ・「新興諸国は米利上げに備えよ」
- ・「市場の混乱緩和には外為市場介入が必要な場合も」
- ・「米利上げで市場見通しに秩序欠く転換生じるリスクも」
- ・「新興市場の資本フローへの影響は緩やかとなる可能性」
- ・「外為相場の弾力性が新興市場のショックを和らげる可能性」

21 : 30

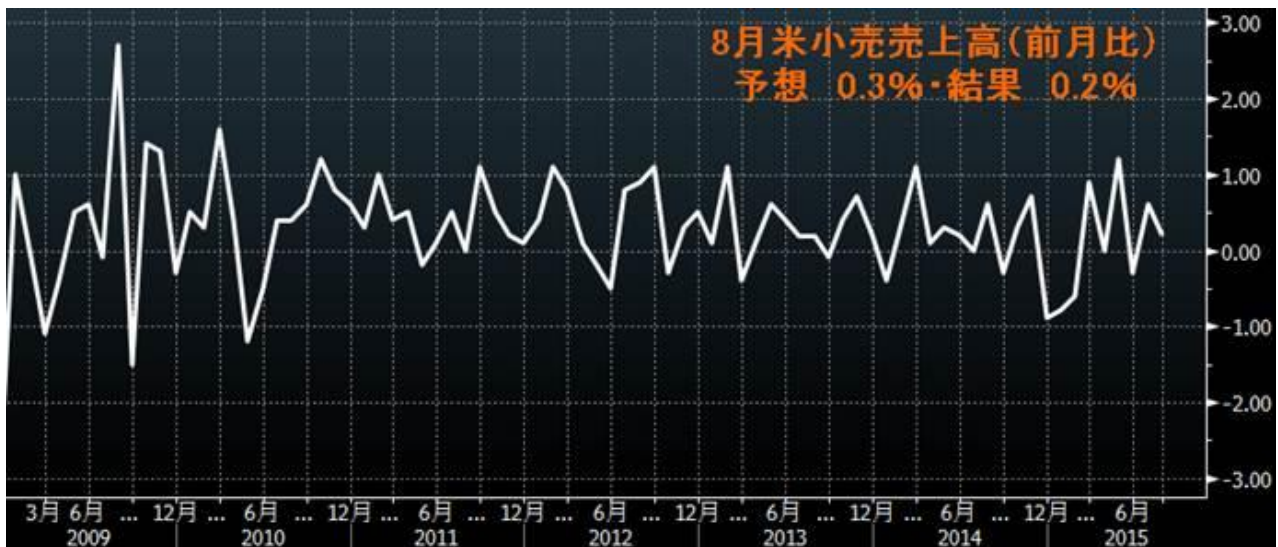
◀ 経済指標の結果 ▶

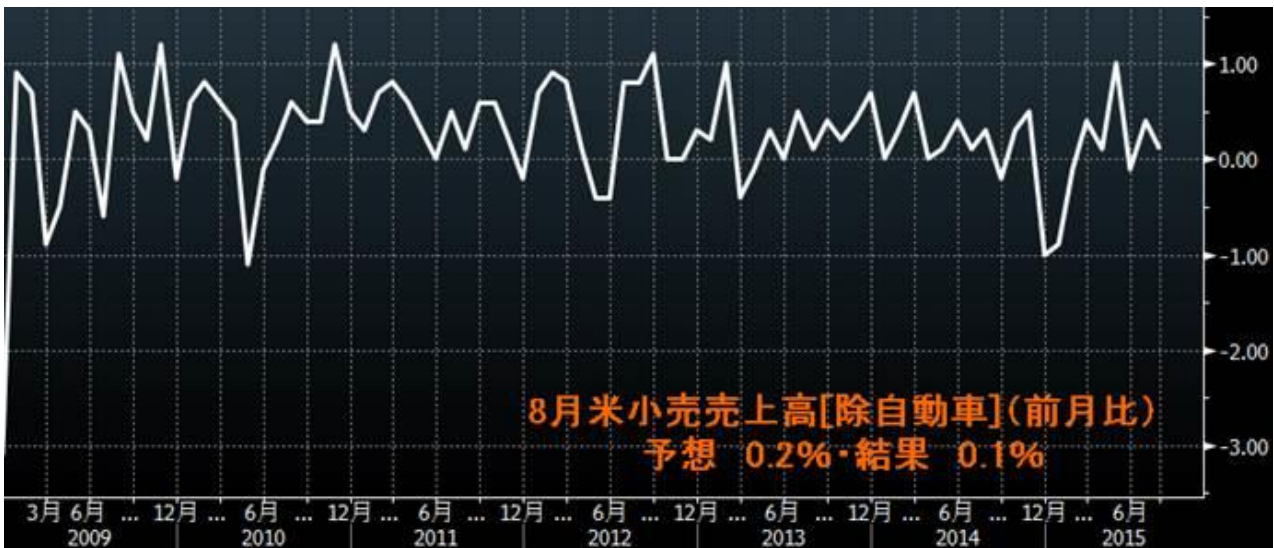
8月米小売売上高(前月比) 0.2%(予想 0.3%・前回 0.7%)

前回発表の0.6%から0.7%に修正

8月米小売売上高[除自動車](前月比) 0.1%(予想 0.2%・前回 0.4%)

前回発表の0.4%から0.6%に修正





(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月
小売売上高	0.2	0.7	0.0	1.2	0.0	1.5	1.6
除く自動車	0.1	0.6	0.4	1.0	-0.1	1.0	0.4
自動車・部品	0.7	1.3	-1.6	1.9	0.6	3.5	5.7
建設資材等	-1.8	1.9	-0.2	0.2	-1.8	2.8	0.9
食品・飲料	0.7	0.1	0.1	0.6	-0.3	0.7	3.3
総合小売店	0.4	0.3	0.7	1.3	-0.6	1.4	1.3
大規模小売店	-0.2	-0.4	-0.2	2.1	-3.0	3.1	-1.9
その他小売店	0.9	2.0	0.7	0.2	1.7	0.3	5.4

(前月比%)

【米小売売上高】

小売売上高は、米国商務省が百貨店やスーパーの売上調査を基にして発表している指標である。個人消費はGDPの約70%を占めており、小売売上高は個人消費の動向を見る上で重要な経済指標の一つであり、米国経済に与える影響も大きいと注目されている。

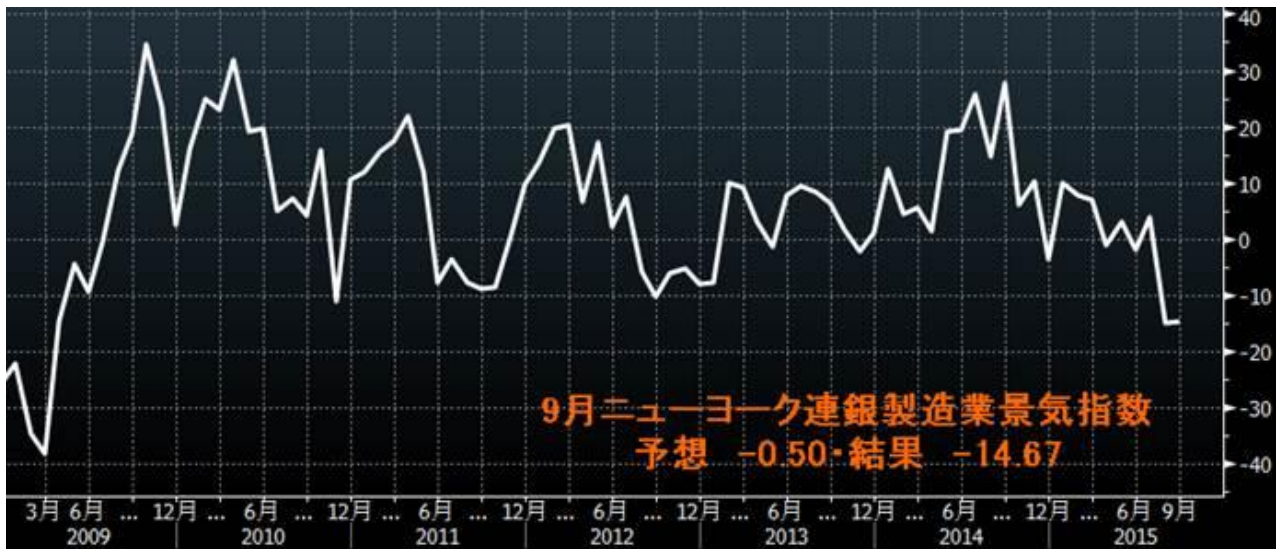


(出所：ネットダニア)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月ニューヨーク連銀製造業景気指数 -14.67 (予想 -0.50・前回 -14.92)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ NY連銀製造業景気指数 ▶

現状)

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
業況	-14.67	-14.92	3.86	-1.98	3.09	-1.19
仕入価格	4.12	7.27	7.45	9.62	9.38	19.15
販売価格	-5.15	0.91	5.32	0.96	1.04	4.26

新規受注	-12.91	-15.70	-3.50	-2.12	3.85	-6.00
出荷	-7.98	-13.79	7.88	12.01	14.94	15.23
在庫	-18.56	-17.27	-8.51	1.92	7.29	2.13
雇用者数	-6.19	1.82	3.19	8.65	5.21	9.57
6ヵ月先の見通し)						
	9月	8月	7月	6月	5月	4月
業況	23.21	33.64	27.04	25.84	29.81	37.06
仕入価格	28.87	34.55	27.66	24.04	26.04	38.30
販売価格	7.22	10.91	6.38	5.77	7.29	13.83
新規受注	23.89	29.36	32.22	26.10	33.94	33.57
出荷	25.30	32.97	25.44	22.11	31.75	32.38
在庫	-9.28	-13.64	-11.70	-17.31	3.13	5.32
雇用者数	7.22	3.64	9.57	13.46	16.67	22.34

同指標はゼロが景況の分岐を示す

【ニューヨーク連銀製造業景気指数】

NY 連銀製造業景気指数は、NY 州の製造業の景況感などを指数化した経済指標である。製造業に関連した新規受注・雇用・在庫など、指数化された数値が発表される。数値はゼロが景況の判断の基準となる。

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月カナダ中古住宅販売件数（前月比） 0.3%（前回 -0.4%）

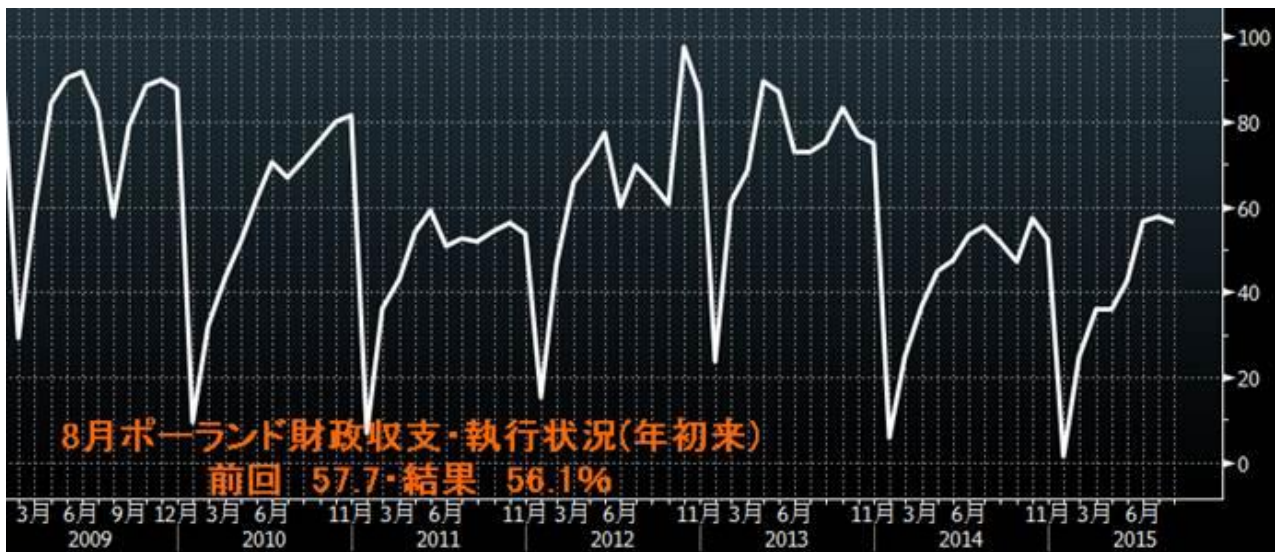


(出所：ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ポーランド財政収支・執行状況(年初来) 56.1%（前回 57.7%）



(出所：ブルームバーグ)

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米鉱工業生産(前月比) -0.4% (予想 -0.2%・前回 0.9%)
 前回発表の0.6%から0.9%に修正

8月米設備稼働率 77.6% (予想 77.8%・前回 78.0%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

≪米鉱工業生産・設備稼働率≫

8月・7月・6月・5月・4月・3月

鉱工業生産・・・-0.4・0.9・0.0・-0.4・-0.2・-0.2

製造業・・・-0.5・0.9・-0.2・-0.1・0.4・0.2

鉱業・・・-0.6・1.8・0.1・-2.2・-1.4・-0.4

最終財・・・-0.4・1.0・0.0・-0.3・-0.3・0.0

原材料・・・-0.6・1.1・-0.1・-0.5・-0.3・-0.1

設備稼働率・・・77.6・78.0・77.7・77.7・78.0・78.3

製造業・・・75.8・76.2・75.7・75.9・76.0・75.8

鉱業・・・84.0・84.7・83.7・83.5・85.7・87.2

【米鉱工業生産】

鉱工業生産は、鉱工業関連の生産動向を指数化したものであり、2002年を100として数値が算出され前月比で発表される。GDPに占める鉱工業部門の割合が約20%程度であることから重要な経済指標である。

【米設備稼働率】

設備稼働率は、鉱工業生産と同時に発表され、設備投資・インフレの先行指標として注目されている。過去20年間の平均値が80%であることから、80%を越えると設備投資が活発化すると判断される。また、景気回復局面ではインフレ指標としても使われる。

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16409.04	+38.08
ナスダック	4811.88	+6.12

(出所：SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米企業在庫（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.7%）
 前回発表の0.8%から0.7%に修正



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀ 米企業在庫 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	前年同月比
企業在庫	0.1	0.7	0.3	0.4	0.1	0.3	2.6
製造業	-0.1	0.3	0.1	0.2	-0.1	0.1	-0.4
小売業	0.6	1.0	0.2	0.6	0.3	0.5	3.9
卸売業	-0.1	0.7	0.6	0.4	0.2	0.2	4.9

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	前年同月比
企業売上	0.1	0.3	0.4	0.5	0.6	-0.3	-2.7
製造業	-0.2	0.6	-0.2	0.0	0.5	0.1	-4.9
小売業	0.8	-0.1	1.3	-0.1	1.6	-0.6	1.9
卸売業	-0.3	0.4	0.2	1.7	-0.3	-0.6	-4.2

【米企業在庫】

企業在庫は、米国の製造業、卸売業、小売業の各業種の在庫状況を示す経済指標。一概にこの指数だけでは経済の良し悪しを判断できないという点があり、副次的指標として参考にするのが好ましい。

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、8月の米小売売上高が増加したことが好感される一方で、上海株式相場的大幅続落が投資家心理を冷やしており、やや上値は重い展開で始まった。ただ、その後は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で103ドル高まで上昇している。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 8月の米小売売上高は、前月比+0.2%の4477億1500万ドルとなり、市場予想の+0.3%を下回る結果となった。前年同月比では+2.2%となった。主力の自動車関連などが伸びており、小売売上高は回復基調を維持した。

①品目・業種別では、自動車・同部品が+0.7%、食品・飲料が+0.7%、外食が+0.7%、総合小売りが+0.4%、一方、ガソリンスタンドは-1.8%、建材・園芸が-1.8%、家具・装飾も-0.9%。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比+0.1%で4ヵ月連続のプラス。市場予想の+0.2%を下回った。前年同月比では+1.3%。

(2) 9月のニューヨーク連銀製造業景況指数は、市場予想を大きく下回る-14.7となり、前月の-14.9とほぼ変わらずとなった。2ヵ月連続のマイナスは、2013年1月以来となる。新規受注は-12.91(-15.70)となり、4ヵ月連続で縮小し、出荷も-7.98(-13.79)と前月から改善した。ただ、雇用者数は-6.19(1.82)と2012年12月以来の最低となるなど、仕入価格が4.12(前月7.27)、販売価格が-5.15(0.91)、在庫が-18.56(-17.27)といずれも低下となった。また、6ヵ月先の見通しを示す期待指数も23.2(前月33.6)と低下した。同指数はゼロが景況の拡大と縮小の判断基準となる。

(3) 8月の米鉱工業生産指数は、前月比-0.4%となり、市場予想の-0.2%を下回り、3ヵ月ぶりにマイナスとなった。主力の自動車関連が振るわなかったことが要因となった。製造業が-0.5%となり、自動車・部品が-6.4%と大きなマイナスとなった。鉱業は-0.6%、電力・ガスは+0.6%。設備稼働率は、前月比0.4ポイント低下の77.6%となった。

(4) 7月の米企業在庫は、前月比+0.1%の1兆8123億5200万ドルとなり、市場予想と一致した。前年同月比では+2.6%となった。

①業種別は、小売業が+0.6%となり、自動車・同部品を除く小売業は+0.2%。一方、製造業は-0.1%となり、卸売業も-0.1%となり、2013年5月以来の低水準となった。

②小売業では、自動車・同部品が+1.4%、建材・園芸は+0.6%、家具・家電類が+0.2%、総合小売りは+0.1%、食品・飲料は+0.1%。

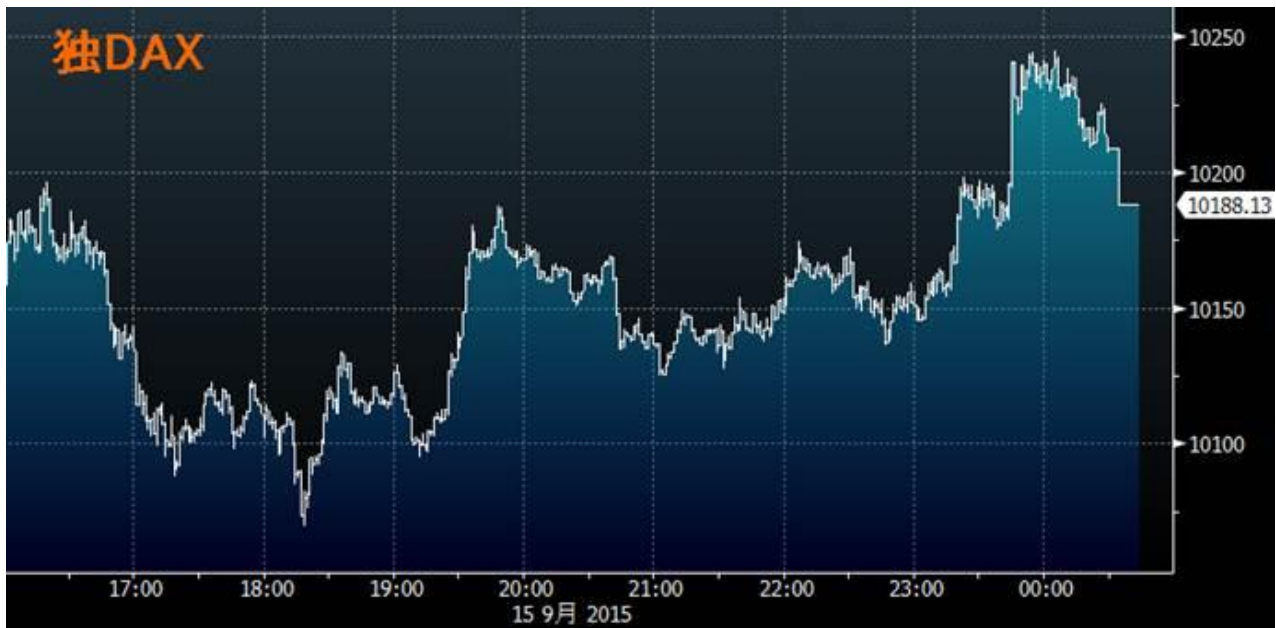
③企業売上高は、前月比+0.1%の1兆3280億500万ドルとなり、金額ベースで2014年12月以来の高水準となった。前年同月比では-2.7%。業種別では、小売業が+0.8%、製造業は-0.2%、卸売業が-0.3%。在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.36だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6137.60	-53.01
仏 CAC40	4569.37	+51.22
独 DAX	10188.13	+56.39
ストック欧州 600 指数	356.43	+2.80
ユーロファースト 300 指数	1405.49	+11.78
スペイン IBEX35 指数	9782.50	+86.10
イタリア FTSE MIB 指数	21903.63	+349.83
南ア アフリカ全株指数	49491.68	+125.08

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米 FOMC を控えて序盤から神経質な展開が続いた。その後、米国株が大幅高となったことが投資家心理を支え、主要株価は堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16527.19 (+156.23) 、S&P500 1969.62 (+16.59) ナスダック 4841.98 (+36.22)

《ポイント》

実施したトルコの最新の世論調査では、与党・公正発展党（AKP）の支持率は6月の総選挙時の40.9%から上昇し41.4%となった。ただ、11月1日の再選挙で単独過半数を獲得するのは困難とみられる。6月の選挙で、AKPは2002年の政権発足以で初めて来過半数を失い、ダウトオール首相は暫定内閣を組織した。最大野党・共和人民党（CHP）の支持率は27.3%、極右の民族主義者行動党（MHP）は15.3%、少数民族クルド人系の左派である国民民主主義党（HDP）は13%だった。6月の得票率はCHPが25%、MHPが16.3%、HDPが13.1%だった。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、8月の米小売売上高が消費の堅調な回復基調を示したと受け止められ、安全資産とされる米国債の売りが先行した。また、米国株が大幅上昇したことも投資家のリスク志向を強める結果となり、国債市場を圧迫した。

午前の利回りは、30年債が3.01%（前日2.95%）、10年債が2.23%（2.18%）、7年債が1.93%（1.88%）、5年債が1.55%（1.51%）、3年債が1.07%（1.03%）、2年債が0.76%（0.73%）。

《ポイント》

米FRBが正常化政策に着手して、米金利上昇への市場期待が高まれば、新興国市場への資金流入が最大で45%縮小する恐れがあると、世界銀行のエコノミストらがリポートで指摘した。リポートは、米FRBの引き締め政策は順調に進むとの見方が大半だが、一段と積極的な利上げを投資家が期待し始め、長期債券金利を押し上げる事態になれば、資金の流れに著しい影響が及ぶリスクがあると警告した。日本や米国、ユーロ圏、英国の利回りが1%ポイント上昇すれば、新興国などの経済への資金流入が、1年以内に45%減る可能性があると分析。新興国などの経済生産の最大2.2%ポイントに相当するという。

《ポイント》

OECD（経済協力開発機構）の事務総長は、世界の経済見通しをさらに引き下げることが明らかになった。新しい予想は15日に発表となる。事務総長は会見で「われわれは見通しの観点から、若干の下方修正をした数字を発表する予定だ。世界の一部地域における下方修正は、若干というよりはもう少し大きなものになるだろう」と述べた。OECDは6月、2015年のGDP成長率予想を前年比+3.1%とし、昨年11月時点の予想の+3.7%から引き下げた。

3:40

NY金は、中心限月が前日比5.10ドル安の1オンス=1102.60ドルで取引を終了した。

4:20

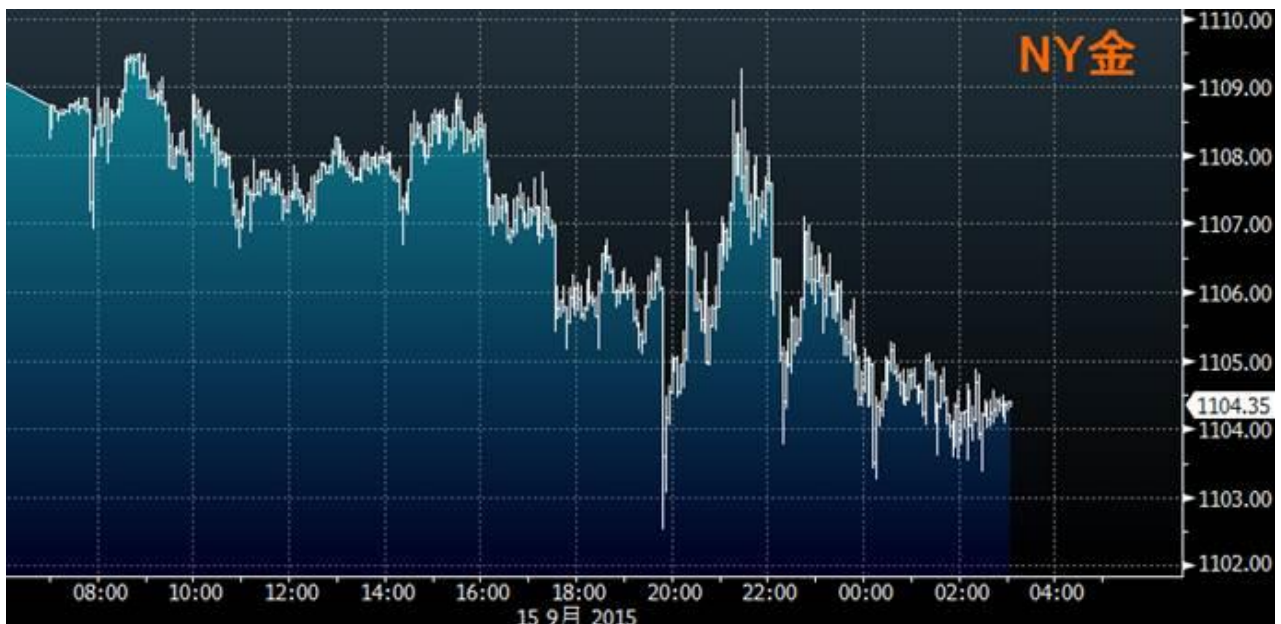
NY原油は、中心限月が前日比0.59ドル高の1バレル=44.59ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1102.60	-5.10
NY 原油	44.59	+0.59

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

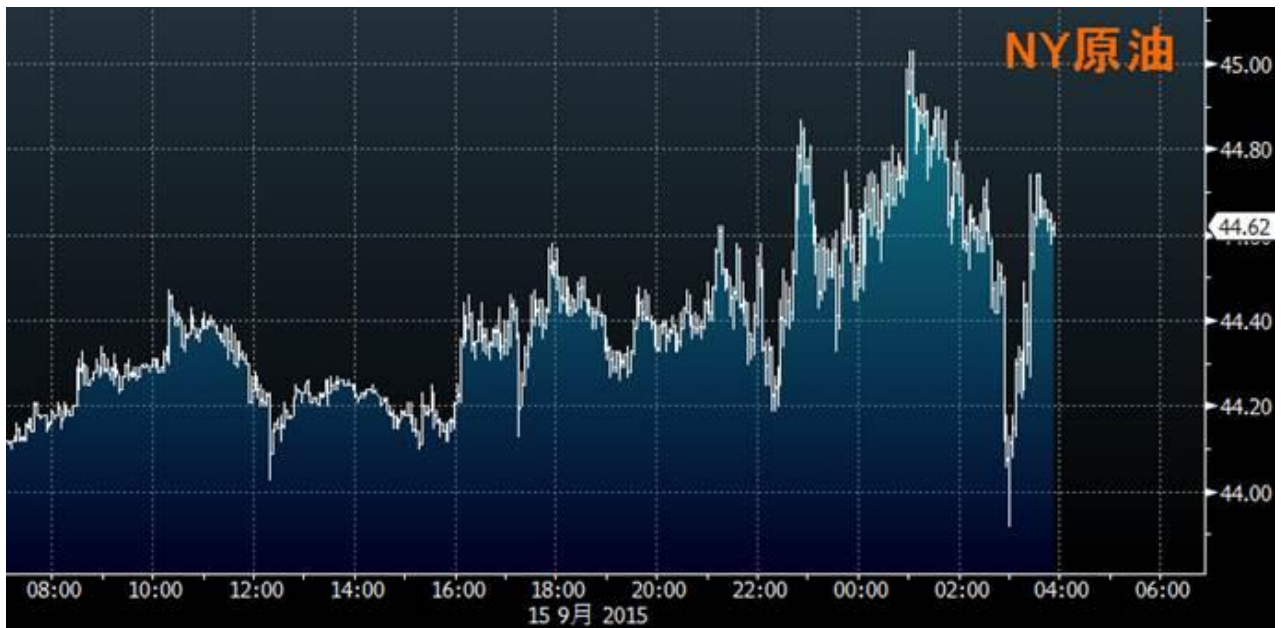
NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇したのにつれて、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。FOMCを前に警戒感が強まり、積極的な買いも手控えられた。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米国株の大幅上昇で投資家心理が改善し、買いが優勢となった。ただ、米石油統計で原油在庫の増加が予想されていることから、利益確定売りに押される場面もあった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16599.85	+228.89	16644.11	16382.58
S&P500 種	1978.09	+25.06	1983.19	1954.30
ナスダック	4860.52	+54.76	4872.35	4802.09

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、アジアや欧州の株価がやや軟調な動きとなったことを受けて、序盤はやや上値は重い展開で始まった。ただ、米小売売上が増加したことが好感され、主要株価は軒並み堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 273 ドル高まで上昇する場面もあった。



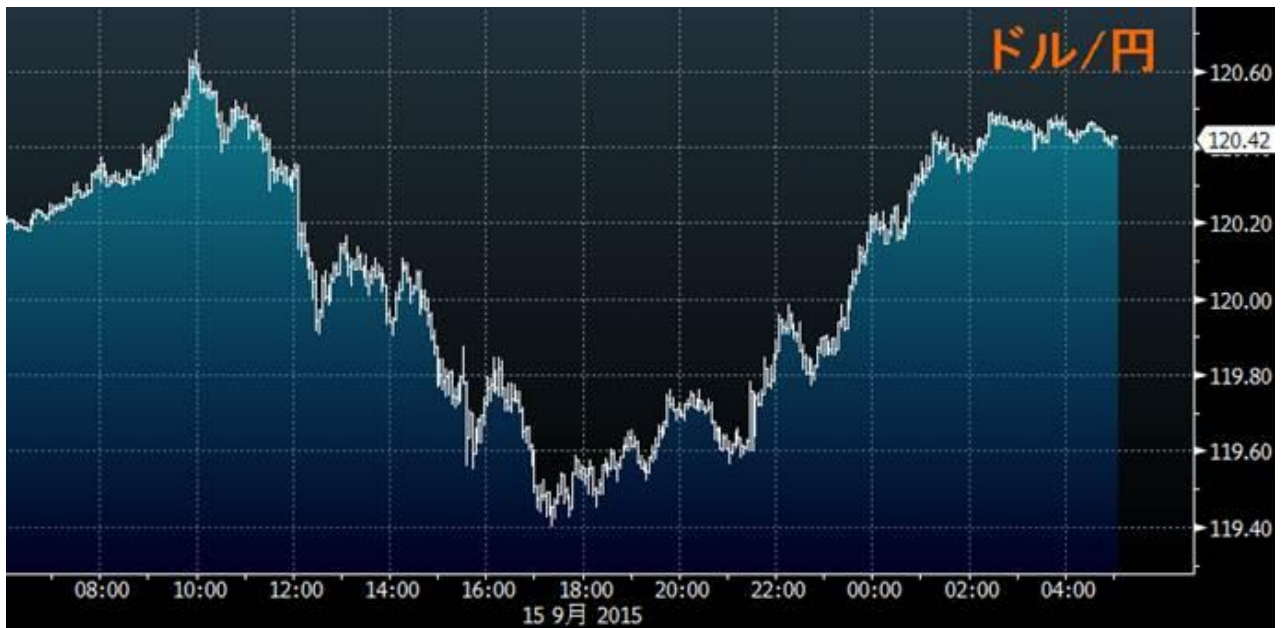
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.42	120.50	119.57
EUR/JPY	135.72	135.88	135.22
GBP/JPY	184.75	184.93	184.23
AUD/JPY	86.05	86.11	85.16
NZD/JPY	76.55	76.71	75.62
EUR/USD	1.1271	1.1329	1.1259
AUD/USD	0.7146	0.7152	0.7085

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米小売売上高が堅調な結果となったことからドルが主要通貨に対して買われる動きとなった。また、米主要株価が軒並み上昇する動きとなったことを受けて、円が主要通貨に対して下落する動きとなり、ドル円・クロス円は堅調な展開が続いた。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。